

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	宇佐美あけぼの園		
○保護者評価実施期間	2024年 9 月10 日		2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2024年9月 10 日		2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重度のご利用者様が多く、食事介助、排泄介助、着脱介助、歩行介助等に対応可能。ご利用者様からも満足のコメントを頂いている。	定時におむつ交換、排泄介助を行っている。	介護福祉士資格を保有する指導員による介護研修を行う。
2	5領域に基づくご利用者様への個別療育、専門的支援を行っており、家族・保護者から喜ばれており、なによりご利用者様が楽しくご利用できている。	児発管・保育士・教員・介護福祉士の経験者がそれぞれの役割を担い、報告・連絡・相談を密にして療育にあたっている。	5領域の細分化された個別の療育プログラムを実施できるよ研修を行っていく。
3	家族・保護者との信頼関係に基づく運営ができており、事業所側とコミュニケーションが密にとれている。	家族・保護者からの電話や、訪問時に十分な時間をかけた話をしている。	まずは管理者・児童発達支援管理責任者が保護者・家族からの質問にしっかり回答できるようになり信頼関係を深めていく。その他指導員も研修等を続けてそれぞれの職務範囲内で保護者・家族との対話を重ねて信頼関係を構築する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)を行う。	バリアフリーだが、個室が無いこと。コメントにあるように家族が仕事で忙しく都合がつきにくいこと。	・簡易なパーティションで区切った空間を作る。・療育の時間と重ならないように家族と日時の調整を行う。
2	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等、家族への支援。	家族に必要な研修内容や要望についての情報収集と研修の広報活動が足りていない。	個別支援計画書及び専門支援計画書を軸に家族にどのような支援のニーズが必要かを把握するために、個別支援計画書または専門支援計画書の更新時等に面談にて伺う。
3	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど家族への支援。	父母または保護者が仕事等で忙しく、日時の調整が困難であることと、多忙と疲れのため参加希望者が少ない(送り時に家で話してほしいという要望が多い)。	本件を個別の案件として家族または保護者にあるべき姿アンケートにて伺う。